

NPO法人えんの森

えんの森通信

En no mori News Letter No.4 October 2013



新理事長からごあいさつ



NPO法人えんの森の活動にご支援とご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

酪農村の環境保全や魅力的な地域づくりを目指して発足したえんの森は、設立から1年余を過ぎました。この間、旧西円朱別小学校校舎を活動拠点に借り受けたり、研修や視察を受け入れたり、また河川の環境保全へ乳牛を渡らせる橋を架けたりと、できることを少しずつ積み重ねて参りました。

北海道東部の自然環境は開発によって人の手が入り、大きく変わりました。環境に負荷がかかりすぎている部分もありますが、自然の懐は深く、私たちの生活はそうした自然の力、豊かさのおかげで成り立っています。そのことにもっと目を向け、自然を知り、産業や暮らしを自然と調和させるための取り組みを進めて行かなくてはと感じます。

私たちが切り開こうとしている道は決して平坦ではありません。手探りで、少しずつ足場を確かめながら進んで行くしかありません。ですが、農業や地域社会を取り巻く環境が厳しさを増す中でも、「住み続けたいふるさとをつくる」という私たちの目指す方向が確かなものであると信じて、今後も粘り強く取り組みを重ねようと思います。

本年度総会で役員構成が一部変わり、職員も入れ替わりがありました。私も大役を引き受けて身の引き締まる思いですが、精いっぱい務めさせていただきます。今後もえんの森に力を貸していただきますよう、心よりお願い申し上げます。

2013年10月

NPO法人えんの森理事長 小椋 守

2012年度決算および2013年度予算、事業計画

2012年度決算（単位・円）

収入計	8,018,363
支出計	7,247,815
収支差額	770,548

2013年度予算（単位・円）

収入計	2,872,548
支出計	2,185,000
収支差額	687,548

新役員

理事長	小椋 守（北海道浜中町）
副理事長	鈴木名敏男（同）
理事	垣内 勇人（同）
理事	甲斐沼淳一（同）
理事	中川 大介（宮城県仙台市）
監事	目黒 耕次（北海道浜中町）
事務局長	石井 健太（同）

2013年度の主な事業計画

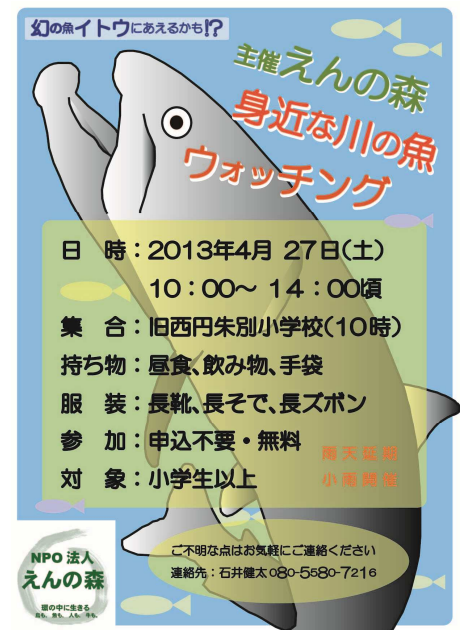
- 三郎川・丸佐川の環境復元
- 西円朱別小学校の活用
- 自然観察会の実施 など



身近な川の魚ウォッチング



みんなで川魚を見ている様子



日程：4月27日

集合：旧西円朱別
小学校前



これから行く川の説明を受けている様子



防寒着で参加してくださったみなさん

(参加者の感想)

- ・寒かったけど、よかった。
- ・自然のなかを歩いて気持ちよかった。
- ・本当に近くの川でイトウが見られるとは思わなかった。感激しました。

→今後も魚道を作った成果の確認・検証も兼ねてまた観察会を実施したいと思います！

夜のコウモリウォッチング



みんなで夜空を飛ぶコウモリを見ている様子



夜のコウモリウォッチング

★コウモリがいるってしていますか★
★ちょっと観察してみましょう★

☆平成 25 年 6 月 16 日 (日)
☆午後 8 時 旧西円小正門前
☆小雨実施・できれば懐中電灯



NPO 法人えんの森
連絡先 65-3020

日程：6月16日

集合：旧西円朱別
小学校前



コウモリの観察道具を持つ参加者



子どももたくさん参加しました

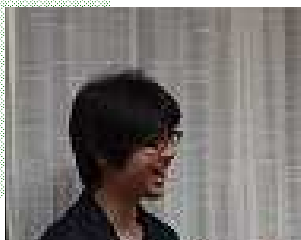
(参加者の感想)

- ・はじめてコウモリをみた。
- ・近くにコウモリがいるとしらなかった。
- ・また観察会があったら参加したい。
- ・これから気にしてみたい。

→これからもみなさんの身近な自然について情報を発信していきたいと思います！

新事務局長から ごあいさつ

石井 健太



東京出身。自然や農村環境に憧れて北海道に来て10年が過ぎ、今年4月に浜中町西円朱別に越してきました。生きものが好きで、学生時からコウモリを調べていました。作業服や胴長で森や川に出入りしていたら、私かもしれません。地域の方の暮らしと自然をつなぐお手伝いをさせていただければ嬉しく思います。事務所（旧西円朱別小学校）にもお気軽にお立ち寄りください。これからもなにとぞよろしくお願い申し上げます。

フォトエッセー

まきばを渡る風

Vol. 3 「霧のまち」 菅井喜久雄



霧多布湿原を望む琵琶瀬の高台にあがっても、夏の間は霧に覆われて何も見えないということがよくあります。道東太平洋岸は南からの湿った風が寒流で冷やされて海霧が発生。海から段丘に押し上げてくる光景は一見の価値があると思いますが、海岸近くの農家は草が乾かず困り者。大地が冷える夕方からは内陸深くまで飲み込まれてしまうことも。巨大な海霧は摩周湖にも流

れ込んでいきます。◆霧多布とはアイヌ語で「キィ・タ・プ」（茅を刈るところ）ですが、まさに霧がたっぷりとうまい字を当てたものだと思います。◆これからの時期は内陸部でも放射冷却で水蒸気が冷やされて霧が発生します。夜、車で走っていると天女の羽衣が舞い降りたかのような薄いベールを切り裂きます。頭上で揺らめく白布の下は妙に艶めかしく、そのまま別の世界へ迷い込んだような不思議な気分。さらに冷え込むと霧氷が出来たりダイヤモンドダストが煌めいたり。霧は最も低いところに来る「雲」ですから、パイロットになった気分で眺めれば、いつもとは違う景色がひろがるかも。



あなたの力を貸してください。

NPO法人えんの森の活動は、会員の皆様の力で支えられています。2013年3月31日、正会員（社員）23人、サポーター会員96人、団体会員14団体。ご支援に心から感謝します。

■サポーター会員 年会費2,000円 ■団体会員 年会費1口10,000円（1口以上）

■会費・寄付の口座

- 大地みらい信用金庫 浜中支店 普通1035531 特定非営利活動法人えんの森 理事長 小椋 守
- JAバンク 浜中町農業協同組合本所 普通0014728 NPO法人えんの森 理事長 小椋 守
- 郵便振替口座 02760-2-80105 NPO法人えんの森

★団体会員：（有）飛鳥苑、蝦夷三官寺學研究所、（株）興和工業、コマツ道東（株）釧路支店、三光産業（株）、日本配合飼料（株）、日本全薬工業（株）釧路営業所、根室湾中部漁業協同組合、（有）浜中町就農者研修牧場、浜中町農業協同組合、北海道オリオン（株）浜中営業所、（株）丸タ村田商店、（株）丹波屋中標津支店、（株）野生生物総合研究所（敬称略）

★諸般の事情で今号の発行が大きく遅れましたことを心よりお詫び申し上げます。

えん森そば栽培



■発行■ 特定非営利活動法人 えんの森
 ■編集■ 中川 大介・石井 健太
 ■事務局■ 北海道厚岸郡浜中町西円朱別西18線181番地
 電話：0153・65・3020 ファクス：0153・65・3021
 電子メール：enmori@least-shrew.jp

